

# オミクロン株について

## オミクロン株の特徴

表面突起に変異が約30カ所あり、感染力が強い恐れ

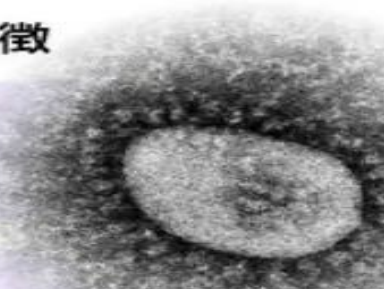
1人が平均何人にうつすかを示す数はデルタ株の最大4.2倍

新規感染者が2日間で倍増する恐れ

1泊以上入院するリスクはデルタ株より40~45%低いと推計

ワクチン2回接種後の感染が相次ぐ

(写真は国立感染症研究所提供  
国内外の研究などを基に作成)



症状	オミクロン株感染者	
	頻度	症状の持続期間
咳	83%	4日
鼻水・鼻詰まり	78%	4日
だるさ	74%	4日
のどの痛み	72%	3日
頭痛	68%	2日
筋肉痛	58%	2.5日
発熱	54%	2日
くしゃみ	43%	3日
嗅覚異常	12%	2日
食欲低下	33%	3日
呼吸苦	12%	2日
味覚異常	23%	2.5日
腹痛	6%	2日
上記の症状のうちいずれか	99%	6日

ノルウェーでの集団感染でオミクロン株に感染した81人の症状と頻度、持続期間 (Euro Surveill. 2021;26(50): pii=2101147, 1p)

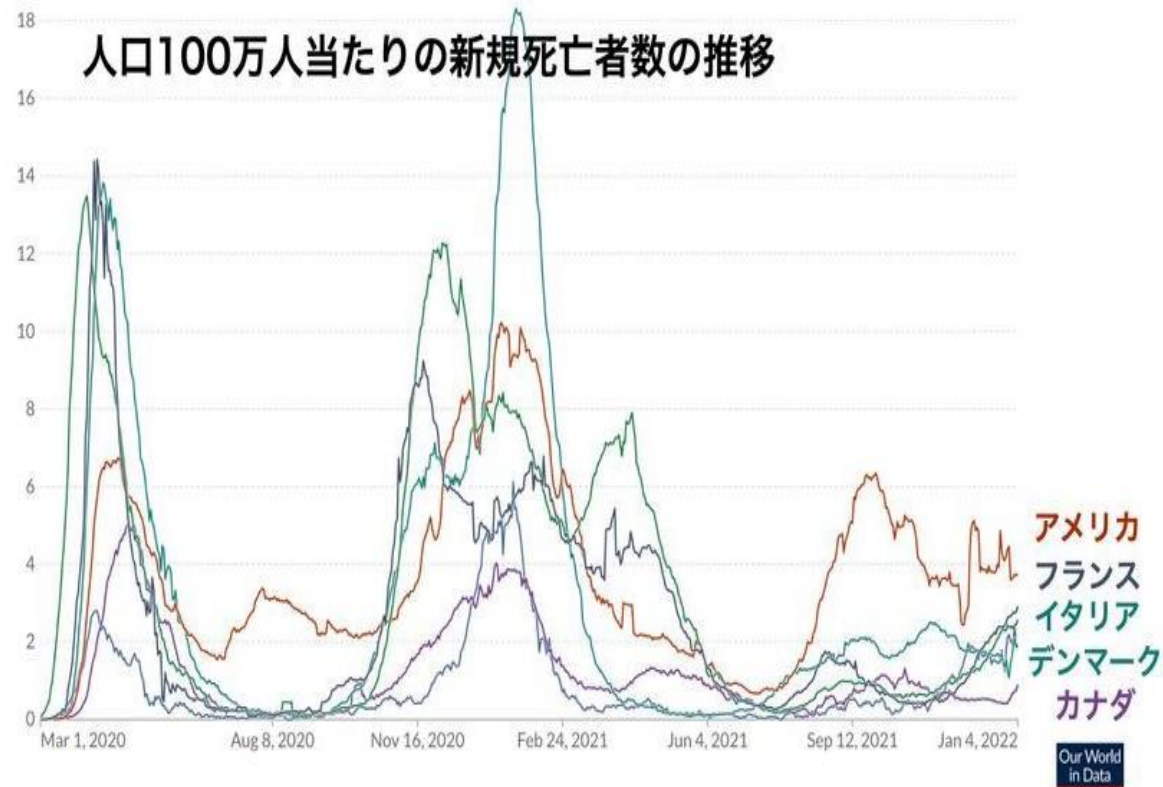
国内での感染者数も急増、市中感染となっている

福島県での感染者も増加～県南地域でも急増中

⇒ **感染経路不明と濃厚接触者よりの発症が多くなってきた**

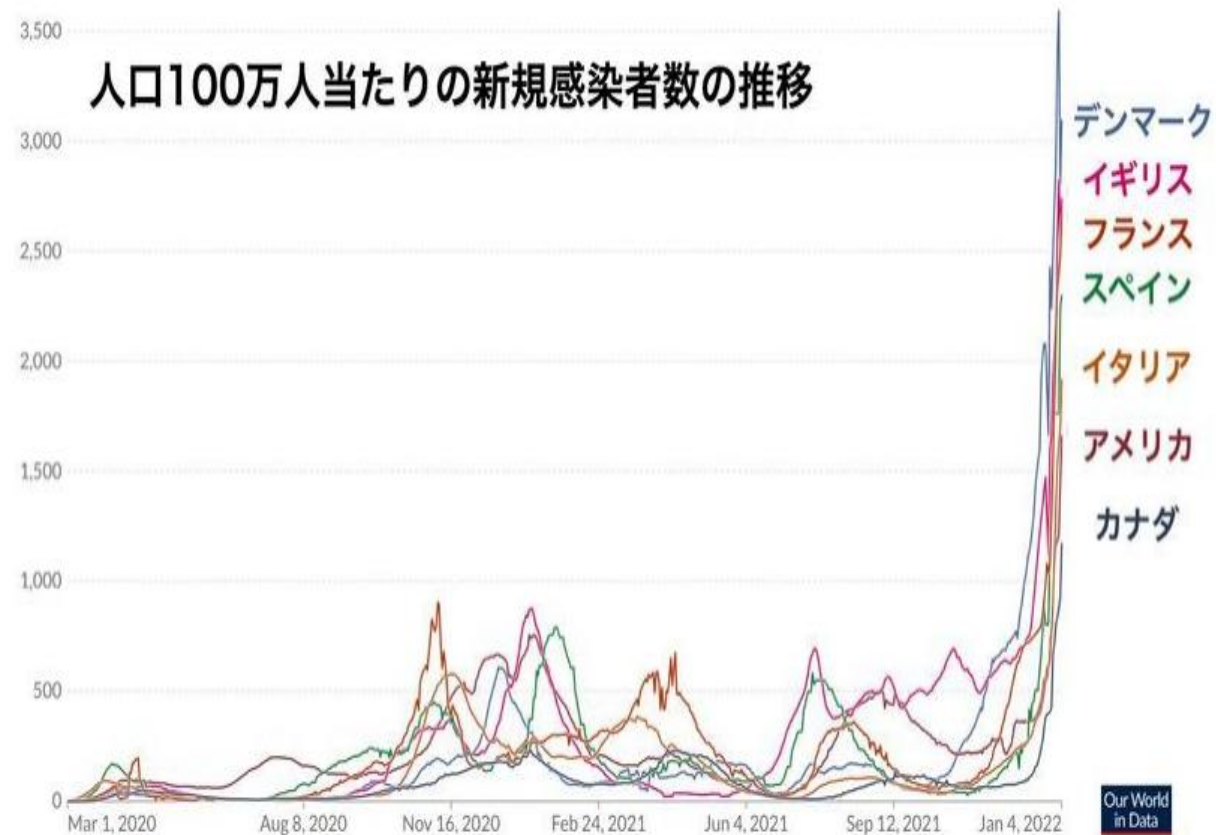
# オミクロン株の特徴

従来のウイルスよりも重症化しにくいという複数のエビデンスが揃ってきている



人口100万人当たりの新規死者数の推移 (Our World in Dataより)

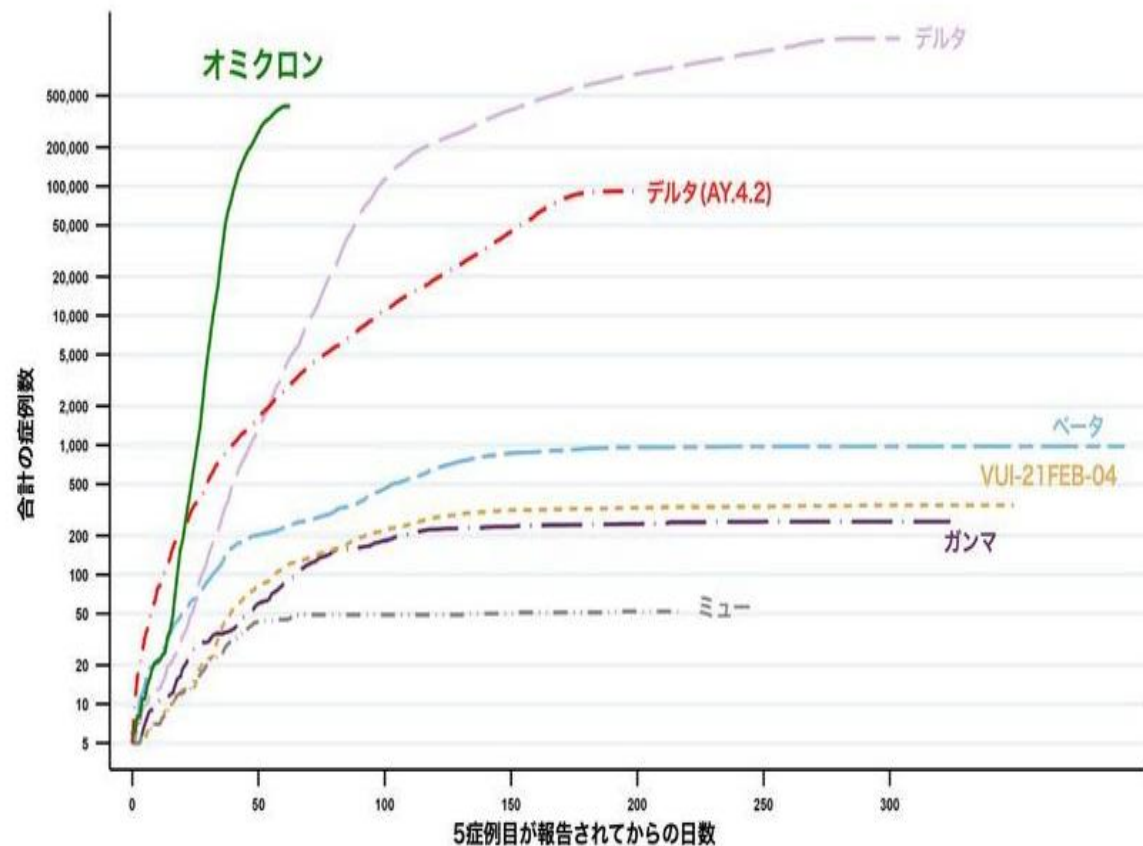
オミクロン株の感染力は非常に強い



人口100万人当たりの新規感染者数の推移 (Our World in Dataより)

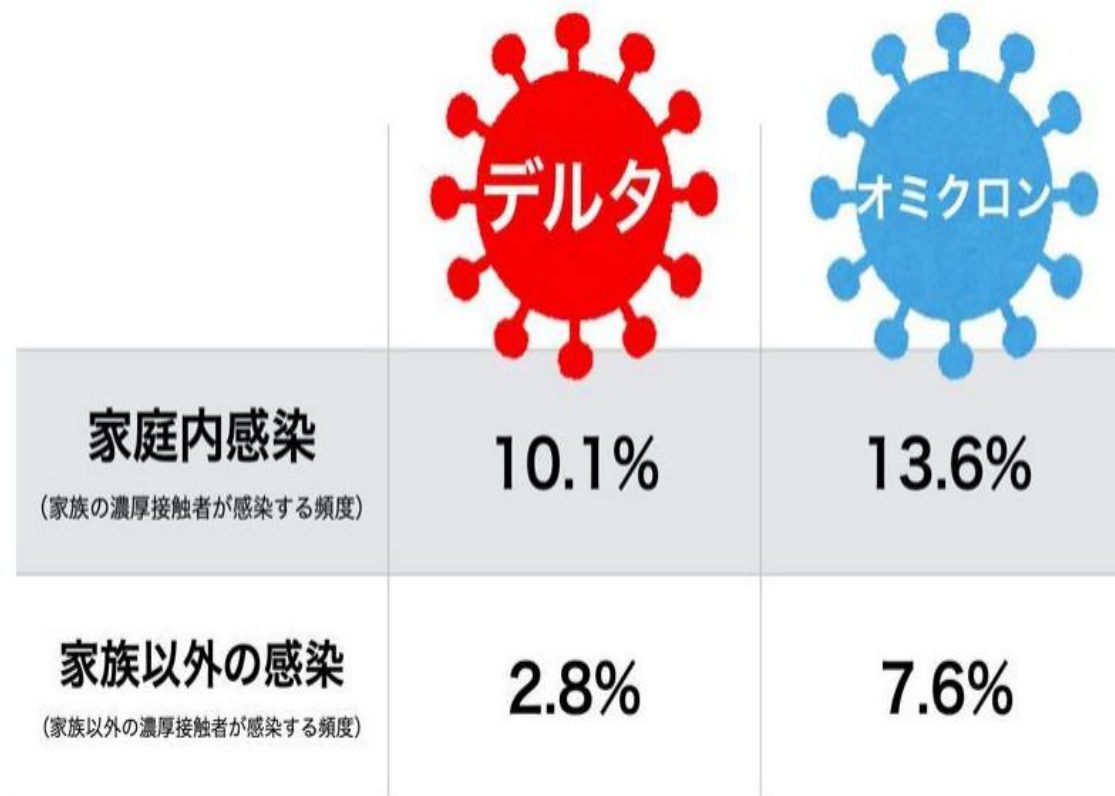
海外からのデータでは、  
感染力の強さと重症化率が低い という報告が増えている

## オミクロン株は変異株の中で最も感染者数の増加が速い



イギリスで5症例目が報告されてからの日数とそれぞれの変異株感染者の推移 (UKHSA publications gateway number GOV-10924)

## オミクロン株はデルタ株よりも濃厚接触者が感染しやすい



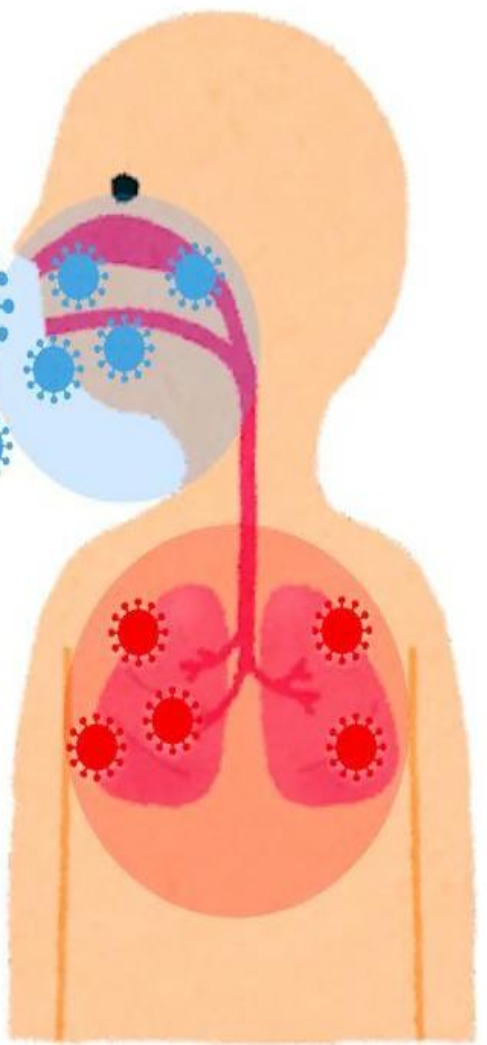
デルタ株とオミクロン株の濃厚接触者の感染しやすさ (UKHSA publications gateway number GOV-10869より)

# 感染力も強く、感染スピードも早い

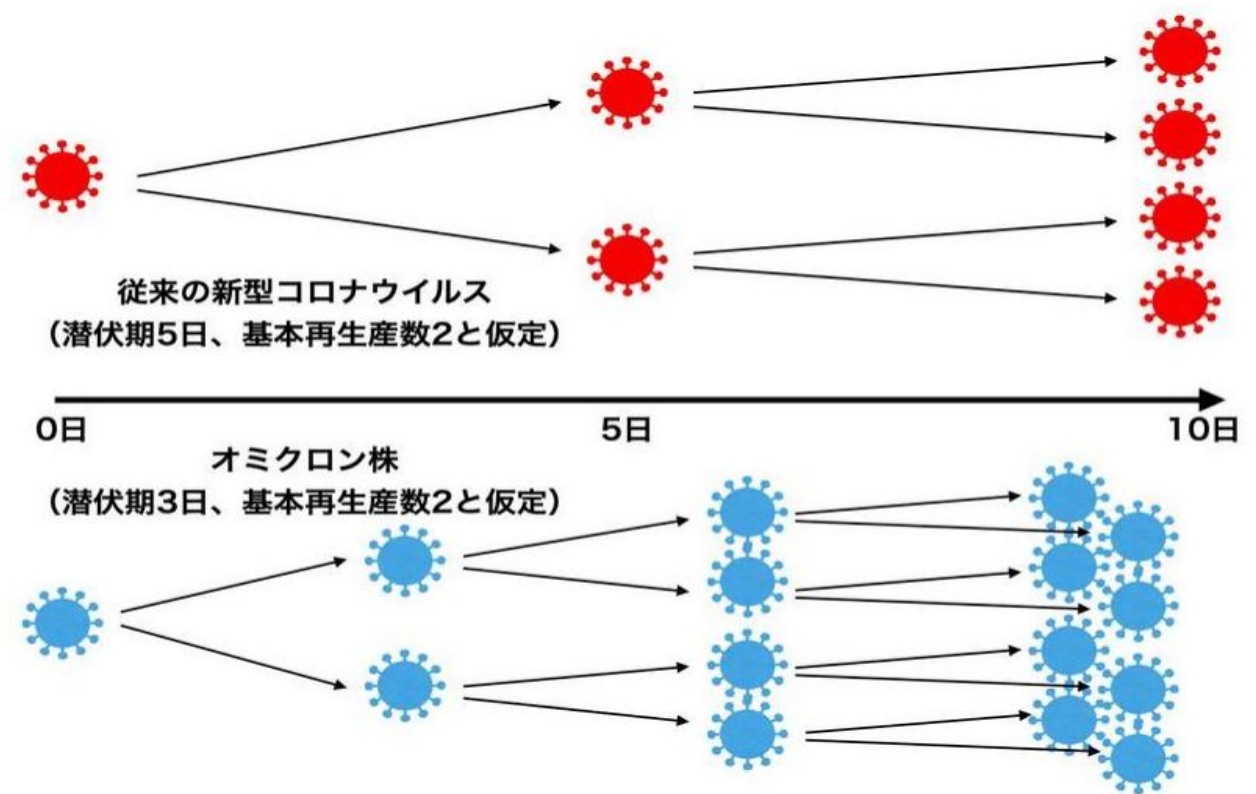
オミクロン株は上気道で増殖しやすい

**オミクロン株**  
上気道で増殖しやすい  
→飛沫感染しやすい？  
鼻水やのどの痛みが多い？

**従来の新型コロナウイルス**  
下気道で増殖しやすい  
→肺炎を起こしやすい？  
重症化しやすい？



潜伏期が短いためサイクルが速くなる



潜伏期が5日、3日である場合の感染の広がりやすさの比較 (筆者作成)

- その原因として
- ・口に近い上気道での増殖
  - ・潜伏期間の短さ

指摘されている

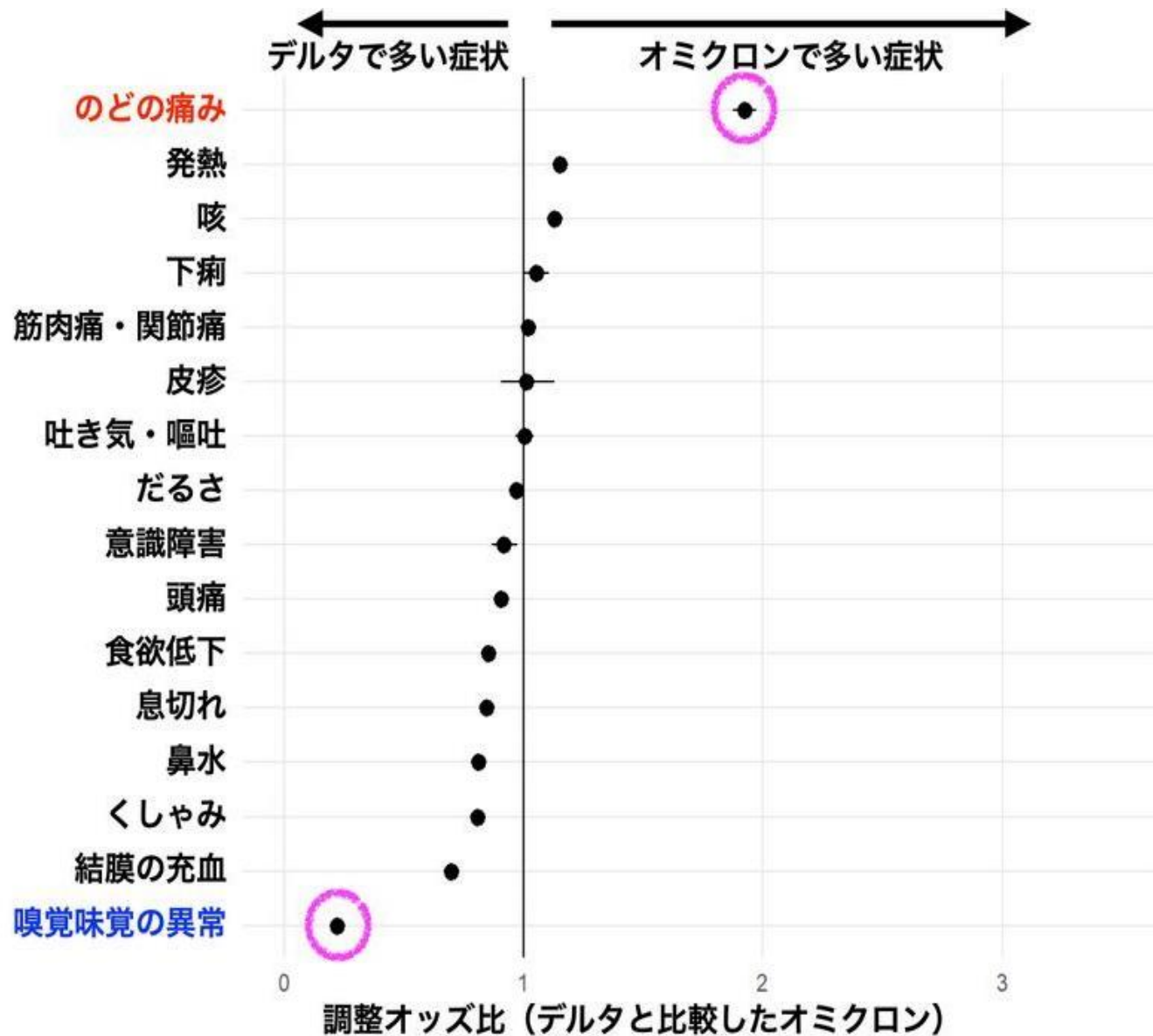
オミクロン株とデルタ株が増殖しやすい部位 (doi: <https://doi.org/10.1101/2021.12.31.474653> および香港大学の報告より筆者作成)

オミクロン株の症状では

- **咽頭痛～咽頭違和感**
- **発熱**
- **咳**
- **筋肉痛・関節痛**

が多く認められる

特に、  
咽頭痛～咽頭違和感は特徴的



デルタ株と比較した、オミクロン株の感染者の症状の比較 (UK Health Security Agency. technical briefing 34より)

海外のデータより

一般的に、デルタ株と比べて

- 入院リスク
  - 重症化リスク
- は低い傾向にある

特に、

ワクチン接種者は重症化し難い



重症化しやすい感染者  
の選別が重要

イギリスにおけるオミクロン株による感染者は、

- ワクチン未接種者では、デルタ株と比較して入院リスクが0.76倍

ワクチン未接種者と比較して、

- ワクチン2回接種者で入院リスクが65%減少

- ワクチン3回接種者で入院リスクが81%減少

- デルタ株と比較して、オミクロン株の感染者の入院リスクは約3分の1 (イギリス)

- デルタ株と比較して、オミクロン株の感染者の入院リスクは0.2倍、重症化リスクは0.3倍 (南アフリカ)

- デルタ株と比較して、オミクロン株の感染者のICU入室リスクは0.26倍、死亡リスクは0.09倍 (アメリカ)

# 福島県と県南地域の感染者数の推移

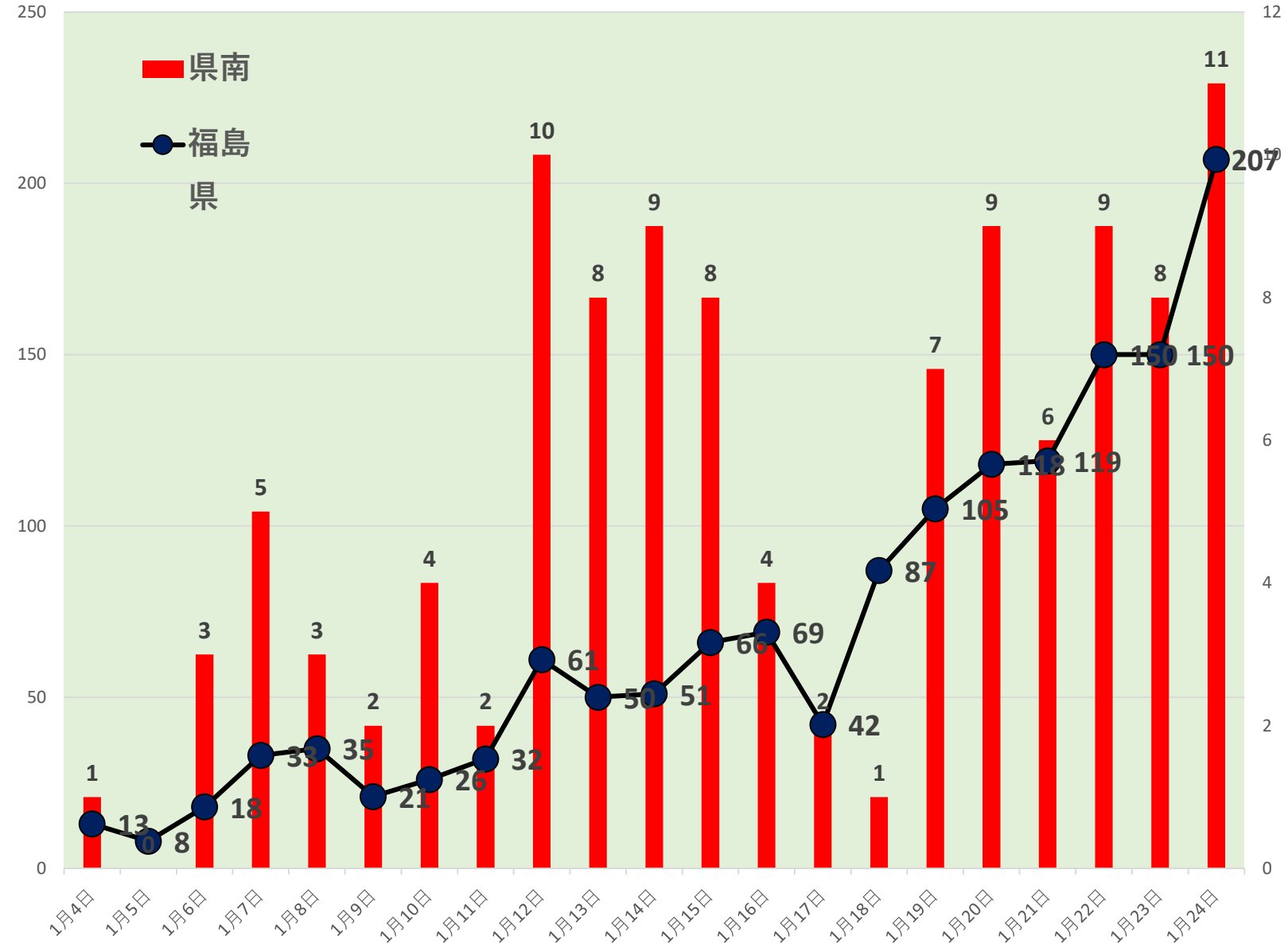
福島県での感染者数は、  
1月に入ってから急増

県南地域でも、同様  
クラスター：3件発生

全例

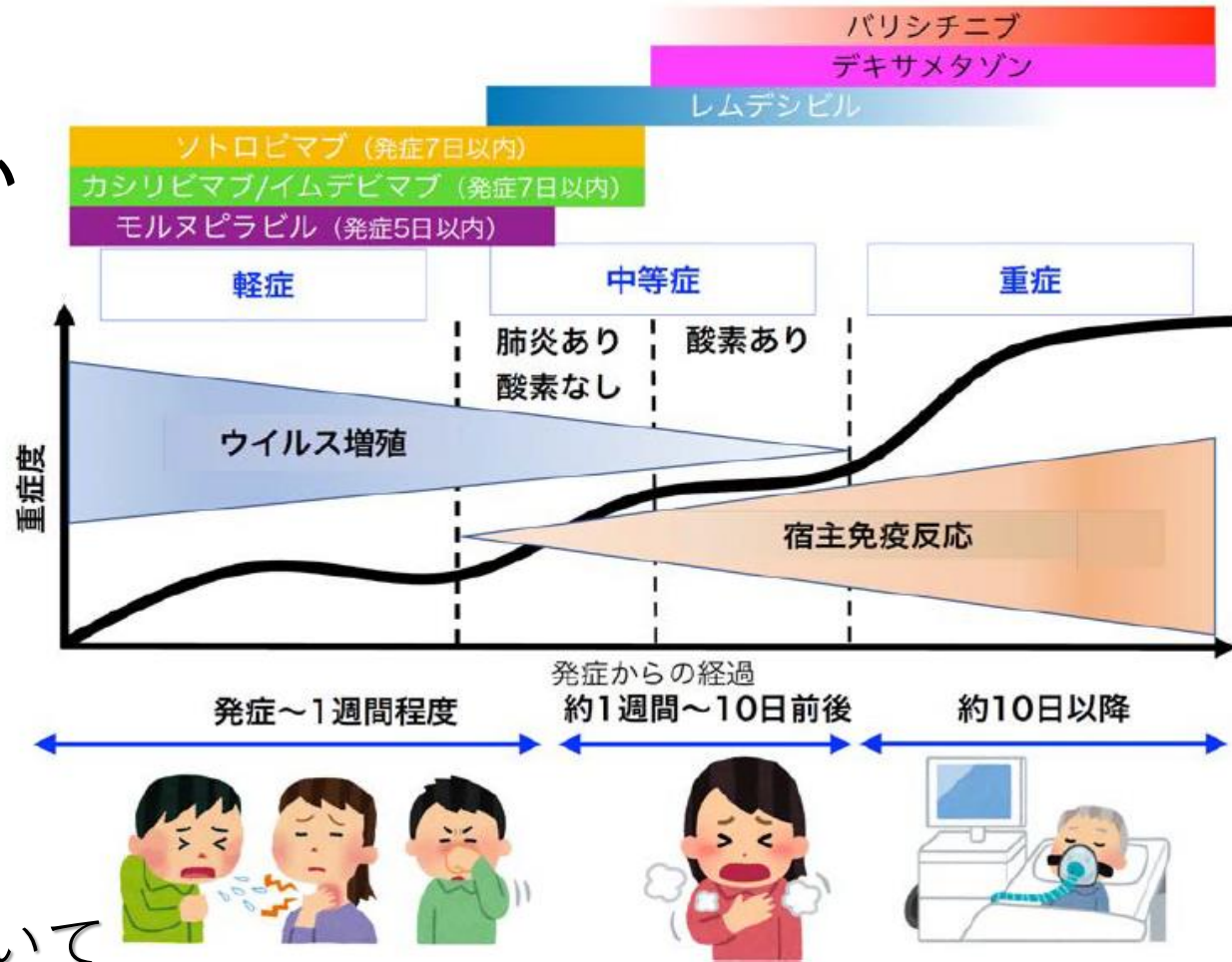
L452R変異 陰性

⇒ オミクロン株 疑い



# オミクロン株のまとめと治療方針

- 感染力は、強い
- 潜伏期間も短い、2~4日で発症
- ワクチンによる発症予防効果はあまりない  
= ブレイクスルー感染あり
- 再感染もある
- 重症化はしにくいという報告が多い
- 治療薬も、効かない可能性あり  
~ ロナプリーブは推奨されず  
~ ラゲブリオはどうか？
- 感染者の隔離期間は従来通り発症10日
- 濃厚接触者の自粛期間が10日に短縮



経口剤(モルヌピラビル=ラゲブリオ) について

- 催奇形性の指摘あり
- 耐性誘導や変異誘導の可能性の指摘あり

図. COVID-19の重症度と治療の考え方

※1 カシリビマブ/イムデビマブ、ソトロビマブは重症化リスクの高い患者のみが適応  
 ※2 全ての患者が重症化するわけではなく、全体の約20%が中等症に、約5%が重症になると考えられるが、ワクチン接種の普及によってこの割合は変わることが予想される



# オミクロン株のまとめ

- ・今年になってから、全国～福島県～県南地域で急速に感染拡大している
- ・**感染力は強く、家庭内感染はほぼ必発**  
また事業所や学校、施設でのクラスターも起こりやすい
- ・**潜伏期間も短く、接触後2～4日**で発症
- ・重症化率は低い傾向にあるが、高齢者についてはまだ不明
- ・治療薬は出てきてるが、まだ「特効薬」とまではいえない
- ・ワクチン接種をしても感染する＝ブレイクスルー感染
- ・感染者の増加に伴い、入院も重症者だけになる可能性大  
その結果、自宅療養者の増加が見込まれる
- ・早く発症するためか、ウイルスの排出期間は短縮傾向にある という報告が多い  
感染可能期間は、発症2日前から発症後5日くらいまで
- ・濃厚接触者の自粛期間は、**10日に短縮**された

**感染力が強くなっても、しっかりと感染対策をしていると、  
感染しない場合が多い。**

⇒ マスク、social distance、換気、手洗いと消毒

# みんなでオミクロン株を予防し あなた自身と大切な人を守ろう

**①** ワクチン接種後もマスク、手洗い、換気を徹底

**②** 屋外でも人との距離を十分に長時間・大人数の飲食など注意

**③** 体調が悪ければ無理な登校や出勤、他地域との往来は避けて

**④** 飲食の際、大皿・共用箸・大騒ぎ・大声は控えて会話はマスクを

**⑤** 帰省時など県外との往来の際は特にご注意ください

**ワクチン接種はオミクロン株の対策に有効です!**  
モデルナ社製のワクチン接種でも、発症や重症化を防ぐ効果があります。副反応は、ほとんどが軽症であり、安全性に問題はありません。

「調子が悪い」「心配」ならお電話を

発熱・咽やのどの痛みなど少しでも違和感がある場合や倦怠感がある場合は、かかりつけ医または「受診相談センター」にご相談ください。

感染対策の基本は変更なし

- マスクを正しく
- social distance
- 換気
- 手洗い～消毒
- 3密の回避

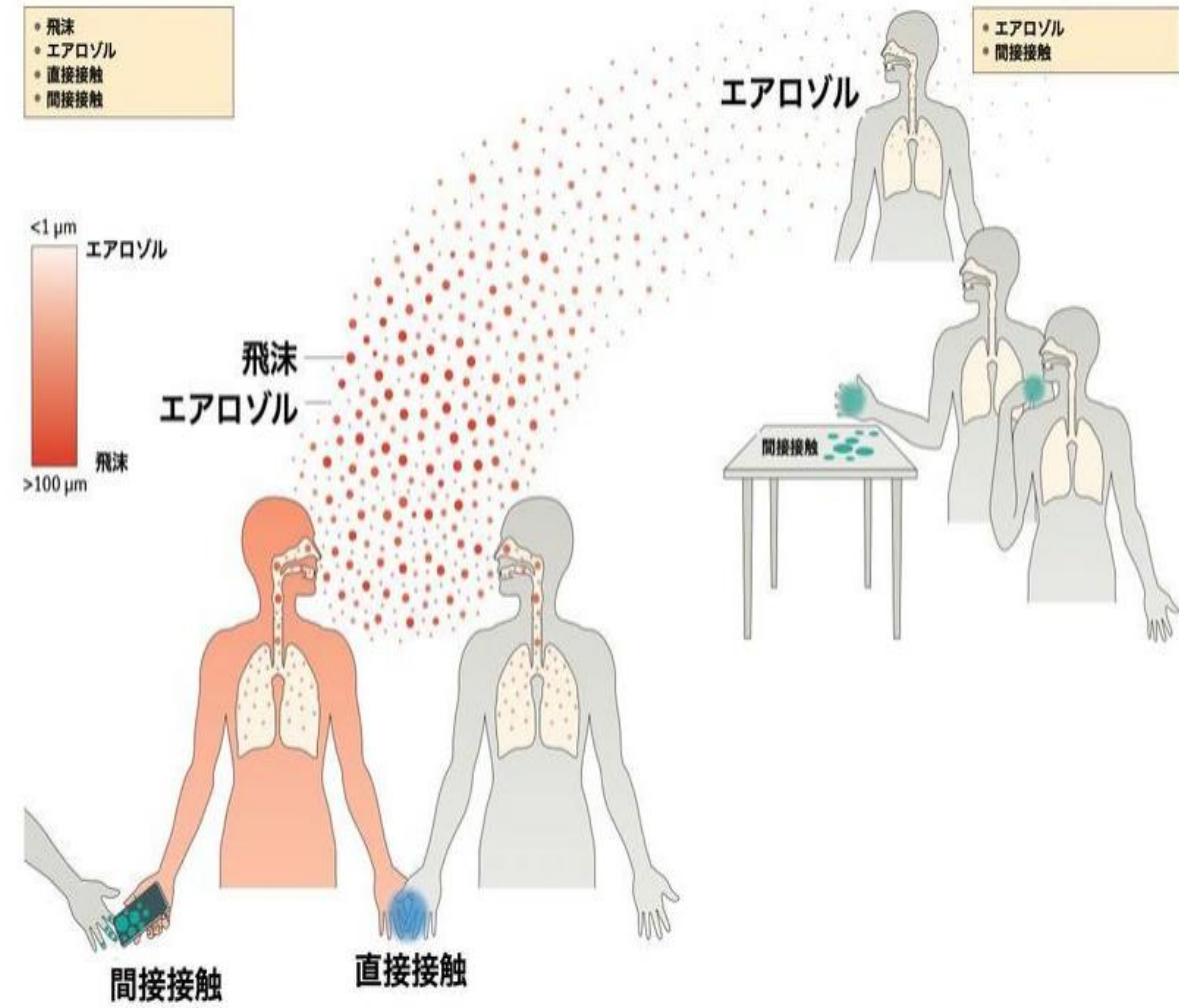
## オミクロン株に対しても感染対策の原則は変わらない

### 短距離での伝播

- 飛沫
- エアロゾル
- 直接接触
- 間接触

### 長距離での伝播

- エアロゾル
- 間接触



新型コロナウイルス感染症の感染経路 (Nature Reviews Microbiology volume 19, pages528-545 (2021))